

令和7年度 保護者による学校評価

(4:大変良い 3:良い 2:やや不十分 1:不十分)

◎ 4.0～3.4 (85%以上)
○ 3.3～3.0 (75%以上)
● 2.9～ (75%未満)

内容	番号	評価項目	R6	R7	評価
家庭教育	1	保護者は、児童の「早寝・早起き・朝ご飯」を意識し、基本的な生活習慣づくりに努めている。	3.2	3.2	○
	2	保護者は、児童のスマホやゲーム使用等について、家庭での約束事を決め、メディアコントロールに努めている。	3.1	2.8	●
	3	保護者は、学校からの文書等に目を通したり、児童の家庭学習の見届けを行ったりしている。	3.2	3.2	○
	4	保護者は、児童とのコミュニケーションの場を大切にし、思いや考えを汲もうとしている(心の居場所づくりに努めている)。	3.2	3.2	○
	5	保護者は、児童に社会生活に必要な「あいさつ・返事」等の大切さを指導している。	3.3	3.3	○
学校運営	6	学校は、各種便りやメール等を活用し、教育目標や方針・教育活動の様子等を分かりやすく伝えている。	3.2	3.2	○
	7	学校は、いじめや不登校・問題行動等に対して、適切な対応を行っている。	3.0	3.1	○
	8	学校は、地域の特色等を活かし、魅力ある学校づくりを推進している。	3.3	3.4	◎
	9	学校は、児童の学力や体力等の実態を保護者に知らせ、課題をもとに学力や体力の向上に努めている。	3.0	3.0	○
	10	学校は、施設・設備の安全管理、清掃、緑化活動等の環境整備を適切に行い、安心・安全な教育環境を整えている。	3.4	3.4	◎
教職員の関わり	11	教職員は、児童のことをよく理解し、家庭との連携や意思疎通を積極的に図っている。	2.9	3.1	○
	12	教職員は、児童の抱える悩みや課題に親身になって向き合い、解決しようとしている。	3.1	3.1	○
	13	教職員は、授業や家庭学習内容等の工夫により、児童の学習の習慣化・学力の定着に努めている。	3.0	3.0	○
	14	教職員は、適切な接遇等(電話対応・あいさつ・言葉遣い等)に努めている。	3.4	3.5	◎
児童の様子	15	児童は、毎日楽しく学校に登校している。	3.2	3.5	◎
	16	児童は、誰にでも進んであいさつができています。	3.0	3.1	○
	17	児童は、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	3.2	3.1	○
	18	児童は、家庭学習の手引きをもとに、目標時間を確保して学習に取り組んでいる。	2.8	2.8	●
	19	児童は、コミュニティの行事や活動(ボランティア)に積極的に参加している。	2.7	2.7	●
自由記述	20	・ 先生方は、児童間の諸問題に対して一生懸命対応していただいていると感じています。しかし、問題の対応には限界もあるのかなとも感じます。 ・ 愛校作業を中止ではなく、教室の上の窓など子どもたちでは難しい場所を掃除するなどにあててもよいのではと思う。			